



令和3年度 学校だより

緑 柏

長崎県立佐世保南高等学校

No. 191

令和3年 9月 16日発行
発行責任者 堤 敏 博

校長室の窓から

「誰かのため」「自分自身のため」

8月19日に、全校生徒に対して放送による校長講話を実施しました。その内容の一部を転載することで、私の思いを保護者の皆様にお伝えしたいと思います。

本校の特徴として「子どもたちが中心になって、表に立って実施している学校行事が多いこと」があります。7月30日に開催したオープンスクールでは、105名の生徒の皆さんが、運営に携わってくれました。受付・案内から各教室での説明、中学生との座談会、質問への対応などこれほど教師が表に出ないオープンスクールは他の学校には見られないことだと思います。「自分が中3の時に参加したオープンスクールで親切にしてもらった先輩方が忘れられません。今度は自分の番です。」という想いで携わってくれた人もいたと聞いています。担当の先生は、「より多くの中学生にこの南高の良さを知ってもらい、本校を志願して欲しいという『南高愛』を随所で感じました。このことは、参加した多くの中学生にも伝わったと思います。」と言われていました。8月9日の平和学習についても、37名の生徒の皆さんが、企画、準備、運営に携わってくれました。担当の先生は、「大筋は生徒が企画しました。子どもたちの平和への熱い想いを感じることができたことが嬉しかったです。」と言われていました。そして、この二つの行事に関して特に素晴らしいと思うのは、手伝ってくれた多くの皆さんが、自らの意志で手を挙げてくれたことです。これがまさに「主体的な行動」であり、今の社会に求められている大きな要素の一つです。

ところで、毎週、月曜から土曜まで、朝の8時からNHKで「おかえりモネ」というドラマが放映されています。私も、毎回録画をして帰宅後に見ているのですが、その中で次のようなセリフがありました。



「人の役に立ちたいとやって結局は自分のためじゃないの」「誰かのために役に立とうとすることが悪いということではないと思う。ただ、役に立つことが第一目的になるあまり自分をおろそかにしていないか」「『人の役に立ちたくてやっている』というより『好きでやっている』というほうがよりいいのではないか。そして、それが結果として誰かの役に立っているならなおさらいいということだと思う」「やっていることは100%自分のため。それが、巡り巡ってどこかの誰かをちょこっとだけでも元気付けたら幸せだ」

また、7月下旬から8月上旬にかけて東京オリンピックが開催されました。私も時間を見つけてテレビで観戦し、必死に頑張っている選手の姿を見て多くの感動と勇気をもらいました。日本人の活躍も目覚ましく、史上最多のメダルを獲得したそうです。そして、期間を通して印象に残ったのが、日本人選手の試合後のインタビューで、ほとんどの選手が口にしていた言葉、それが「感謝」です。自分が大好きなこの競技を精一杯披露できたのは、多くの方々の支えがあつてのこと。その多くの方々の支えがあつて今の自分があることへの感謝です。

金メダルを取りたい。自己ベストを出したい。これまで頑張ってきた成果をみんなに見てもらいたい。そして、そのことで自分を成長させたい。成長していることを認めて欲しい。このように自分のために頑張ってきたことが、その姿を見た多くの人に感動と勇気を与える。私たちも、自分の将来のため、自分の成長のため、あるいは、楽しいからという自分のためという理由から、誰かのためにつながることが理想なのかもしれません。逆もあるでしょう。つまり、誰かのためにやっていることが、実は自分のためになっているということです。どちらにしても、それぞれがなすべきことを自身で考え、行動に移すことが大事のように思います。

学習にしても、部活動にしても、学校行事にしても、それぞれが自分自身で考え、主体的に取り組むことで、分からなかったことが分かるようになり、できなかったことができるようになる。その過程でおもしろさを見だし、興味が湧き、自然と努力する。そして、「誰かのために」「自分自身の成長」につながっていくと思います。このことを頭に置きながら今後の学校生活を送り、お互い充実した2学期にしましょう。

わかやま総文2021

第45回全国高等学校総合文化祭紀の国わかやま総文2021の日本音楽部門に邦楽部の3年生9人、2年生3人の計12人が出場しました。生徒自ら選んだ楽曲「箏のための展」（沢井忠夫作曲）を、講師の山本孝子先生の指導のもと日々練習を積み重ね、多くの方々のサポートを得て、7月31日（土）の和歌山市民会館での本番に臨みました。結果は、長年目標としてきた8位以内入賞を大きく上回る4位以内の好成績で、文化庁長官賞を受賞しました。九州勢として初となる受賞に、応援して下さった皆さんへの感謝の念を深くしました。これにより、8月26日（木）の第32回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演へ出演の機会を得ました。今年は例年と違い、国立劇場での演奏風景を映像に収め、10月からweb上で公開される予定です。詳細が分かればお知らせします。

九州勢として初 文化庁長官賞受賞



平和学習

Peace begins with our hearts

8月9日（月）、各教室において平和学習を行いました。本校は、令和元年から、有志の生徒が「佐南ピースアンバサダー（平和大使）」として平和学習を企画し、発表する取り組みを行っており、今年度は、1・2年生の37名がピースアンバサダーを務めました。

今年度は「Peace begins with our hearts」のテーマのもと、ピースアンバサダーが調べた長崎原爆や佐世保空襲についてのプレゼンテーションを行い、全校生徒は、戦争の悲惨さを理解しただけでなく、「平和とは何か」「平和のために自分にできることは何か」について真剣に考えました。

生徒の感想文には、「平和の大切さを実感した」「長崎に住む私たちだからこそ、戦争の恐ろしさを伝えていかなければならない」「戦争が二度と起きないようにするために自分たちにできることを積み重ねたい」などの意見がありました。

これからも、南高生一人ひとりが、佐世保空襲や原爆について学び、そして、それを語り継ぎ、平和な社会の構築のために貢献してほしいと願います。



第1学年消費者教育

7月13日（火）～7月15日（木）、長崎県消費生活センターの青崎 孔 先生を講師にお招きし、「SDGs達成のための『エシカル消費』を学ぶ」と題して、第1学年による消費者教育を行いました。今後は、今回学んだことや、これから学ぶSDGsについて理解を深め、一人ひとりが考えながら行動してほしいと思います。



全国大会壮行式 全校集会

7月20日（火）にインターハイに出場する水泳部の吉村和真君（3年）、全国総文祭に参加する邦楽部と、個人でインターハイに出場する少林寺拳法の種本依織君（3年）、全国総文祭将棋部門に出場する柏木智成君（1年）の壮行式を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2・3年生は体育館で、1年生は教室でリモートによる参加となりました。邦学部の美しい箏の演奏も披露されました。引き続き、

全校集会を開催しました。校長先生による訓辞、生徒指導部による生活上の諸注意、また保健相談部による心身の健康の守り方についてお話がありました。

8月19日（木）には夏季休業開けの全校集会を校内放送で行いました。校長先生の訓辞の後、保健相談部より新型コロナウイルス感染拡大に関する再度の注意喚起、生徒指導部によるお話がありました。



第103回全国高等学校野球選手権

7月10日（土）、佐世保野球場において、1回戦で瓊浦高校と対戦し、0対6で敗退しました。

これまでの練習の成果を発揮してチャンスを作ることはできたものの、あと一本が出ず、最後まで粘り強く戦いましたが、残念な結果となりました。来年の大会に向けて頑張りたいと思います。応援ありがとうございました。



7～8月に行われた部活動の主な大会結果

○邦楽部

第45回全国高等学校総合文化祭和歌山大会

日本音楽部門

結果：文化庁長官賞

※全国高等学校総合文化祭優秀校 東京公演出演

○吹奏楽部

第66回長崎県吹奏楽コンクール 高等学校の部

結果：銀賞

○書道部

第20回長崎県高等学校文化連盟書道部門大会

【揮毫大会】

結果：優秀賞 富永光咲、井福由乃、金本怜奈

（金本怜奈さんは令和3年度全九州高等学校総合文化祭書道部門に参加）

○将棋（柏木智成）

全国高等学校総合文化祭和歌山大会 将棋部門

結果：予選ラウンド通過、決勝トーナメント1回戦敗退

○少林寺拳法（種本依織）

全九州高等学校総合体育大会 男子単独演武の部

結果：予選敗退

全国高等学校総合体育大会 男子単独演武の部

結果：予選敗退

○野球部

第103回全国高等学校野球選手権長崎大会

結果：1回戦敗退 0-6 瓊浦

○水泳部

全九州高校体育大会水泳競技大会（7/17～19）

結果：

1500M自由形 吉村和真 第2位 インターハイ出場

1500M自由形 中原修玖 第5位

200M個人メドレー 吉村和真 第5位

4×100Mメドレーリレー

（戸上・吉村和・関・中原） 予選敗退

4×100Mフリーリレー

（吉村尚・関・戸上・中原） 予選敗退

4×200Mフリーリレー

（中原・関・戸上・吉村和） 予選敗退

50M自由形、100M自由形 井石瑠七 予選敗退

200Mバタフライ 関 銀士 予選敗退

400M個人メドレー 石瀧司龍 予選敗退

400M自由形 中原脩久 予選敗退

高校総体インターハイ競泳2021（8/17～20）

1500M自由形 吉村和真 23位/40人 予選敗退

○男子バレーボール部

2021年度天皇杯全日本バレーボール選手権大会

長崎県ラウンド（7/4）

結果：優勝

前期校内大会

7月19日（月）に前期校内大会が開催され、男子はソフトボールとバレーボール、女子はドッジボールとバドミントンを行いました。どの競技においても、クラスの仲間と一致団結して競技に取り組んだり互いに応援し合ったりする様子が見られ、クラスの親睦がより深まったことと思います。コロナ禍で制限されることが多いなか、生徒たちの嬉々として活動する姿が見られ、笑顔溢れる校内大会となりました。また、校内大会を運営するにあたり、体育委員や部活動生を中心に多くの生徒が準備・運営に協力してくれました。この経験を、今後様々な場面で発揮してくれることを期待します。

大会結果は以下の通りです。

【男子】

[ソフトボール]

優勝：2-5

準優勝：2-2

[バレーボール]

優勝：3-2

準優勝：3-6

【女子】

[ドッジボール]

優勝：2-5

準優勝：2-2

[バドミントン]

優勝：2-1A

準優勝：3-4



オープンスクール

今年度のオープンスクールは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年のオープンスクールと比べ規模を縮小し、密を避ける形で実施しました。105名の生徒が実行委員として参加し、生徒が主体となって南高について伝えるオープンスクールとなりました。内容としては学校紹介のビデオ配信や本校生徒が中学生の質問に答える座談会、そして部活動見学でした。南高の魅力を存分に伝えるよい機会となりました。今後も南高の魅力を発信できるような機会を作っていきますので、よろしくお願いします。



10月行事予定

10月4日（月） 修学旅行保護者説明会（2年）

4日（月）～7日（木）

二学期中間考査（1・2年）

三学年学年末考査（3年）

7日（木） 共通テスト100日前集会（3年）

7日（木） 3年学年育友会

9日（土）～10日（日）対外記述模試（3年）

14日（木） 県内企業説明会（1年）

21日（木） 高大連携出張講義（1・2年）

23日（土） 第一回大学別プレ（3年希望者）

27日（水） 人生の達人セミナー

29日（金） 文化部発表会

30日（土）～31日（日）

対外マーク模試（3年）

※コロナウイルス感染拡大防止のため

急に変更になる場合がございます。